

# 「ついに叶う」市民の声

## 带状疱疹ワクチン接種助成

これまで定例議会の都度に各議員から、市長に対する一般質問で「带状疱疹ワクチン接種助成」を求める意見が繰り返されてきました。ついに叶い、令和6年度の一般会計の当初予算にワクチン接種の助成費として705万円が計上されました。

議会では、令和3年12月議会から今議会までの計8回にわたり一般質問で「带状疱疹ワクチン接種助成」を望む声がありました。令和5年8月には栗原市医師会から「高齢者の带状疱疹

との回答でありましたが、ついに叶い、令和6年度の一般会計予算として計上となり、地域の健康増進に向けて接種助成は、重要な取り組みです。議会は住民の福祉と安全安心を考え、積極的に提案していきます。

### 助成事業 ほか2件

他2件の助成事業について可決しました。

◎**骨髄バンクドナー助成**  
1日2万円の7日間を上限に、骨髄提供を行う個人に対する経費軽減、賃金補填をします。

◎**高齢者肺炎球菌ワクチン未接種者フォロー助成**  
65歳から100歳までの5歳刻みの単位で時限措置でおこなってきた定期接種が、令和6年度以降は65歳のみが対象となります。

令和6年度のみ、未接種の人に対して費用の一部を助成します。

### ひとくちメモ

#### 带状疱疹とは

带状疱疹は多くの人が、子どもの時に感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起ります。

50歳以上で発症した人の約2割は3カ月以上痛みが続き、改善されない場合もあります。

合併症がでることや、重症化すると視力の低下や失明、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残る可能性もあります。

疲労やストレスなどもきっかけになり、体の一部に赤い発疹ができて、痛みがあり、治った後でも痛みが続くこともあります。加齢などによる免疫力の低下が、発症の原因です。特に50代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われています。



病院内に掲示されているポスター

### 2種類のワクチン

#### 生ワクチン

1回7,000円～  
10,000円

#### 不活化ワクチン

1回20,000円～  
30,000円 2回接種

市ではどちらを受けても  
**1回 5,000円助成**

# 議員定数と 議会基本条例の調査・研究

## 議会のあり方調査特別委員会設置



市民の声を聞く「議会報告会」

議会は、人口減少などに伴い議員定数のあり方、議会基本条例の検証などの課題を抱え、これまでの議会活動を全体的に検証するとともに、議会として総合的に調査・研究を行う必要があることから、議員全員（議長を除く）による「栗原市議会のあり方調査特別委員会」（以下、特別委員会）を3月11日に設置しました。

議会はこれまで、平成21年10月に議会改革調査特別委員会を設置し、議会改革および議会活動の活性化について調査を行い、平成23年12月には議会の最高規範として「栗原市議会基本条例」を制定しました。

また、平成29年10月には議会のあり方調査特別委員会を設置し、議員定数を26人から2人減の24人に見直すなど、議会活動をおこなってきました。

### 動き出した

### 特別委員会

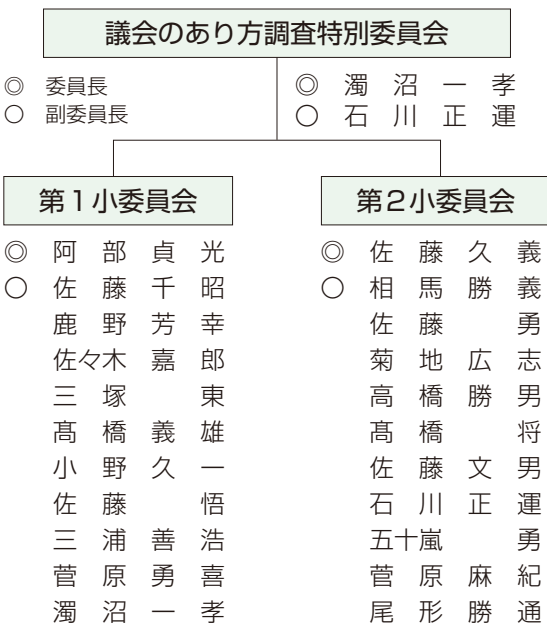
特別委員会は、2つの小委員会を構成【左図を参照】し、それぞれ調査することになりました。

#### 第1小委員会

「議員定数」と「議会選出監査委員の選出方法」

#### 第2小委員会

「議会基本条例の検証」と「会派のあり方」



議会改革に対する会派などの集計表（複数回答）

	市民 くりはら	新清流	政 フオーラム	進 フオーラム	創成会	三浦 善浩	尾形 勝通	件数
議員定数	○	○	○	○	○	○		6
議会基本 条例の検証		○		○	○		○	4
議会選出監査 委員の選出方法		○	○	○				3
会派の あり方					○	○		2

### 特別委員会 設置の動き

#### 1月26日

各会派の議会改革に対する考え方を調査。

#### 2月14日

各会派の議会改革の優先順位を決定。

#### 2月27日

各会派および無会派の議会改革を集計。

議会改革の進め方を協議。

### 特別委員会の動き

#### 第1回（3月11日）

正・副委員長を互選。  
委員長 濁沼一孝  
副委員長 石川正運

第1、第2小委員会を設置し、各委員を選任。

#### 第2回（3月18日）

小委員会の正・副委員長を互選。

今後の進め方を協議。

この特別委員会は、地方自治法第109条および市議会委員会条例第6条に基づき設置しました。